

苦小牧市非核平和都市条例

わたしたち苦小牧市民は、安全で健やかに心ゆたかに生きられるように、平和を愛するすべての国の人々と共に、日本国憲法の基本理念である恒久平和の実現に努めるとともに、国是である非核三原則の趣旨を踏まえ核兵器のない平和の実現に努力していくことを決意し、この条例を制定する。

(目的)

第1条 この条例は、本市の平和行政に関する基本的事項を定め、市民が安全で健やかに心ゆたかに生活できる環境を確保し、もって市民生活の向上に資することを目的とする。

(恒久平和の意義等の普及)

第2条 市は、日本国憲法に規定する恒久平和の意義及び国是である非核三原則の趣旨について、広く市民に普及するように努めるものとする。

(平和に関する交流の推進)

第3条 市は、他の都市との平和に関する交流を推進するように努めるものとする。

(その他平和に関する事業の推進)

第4条 市は、前2条に定めるもののほか、平和の推進に資すると認める事業を行うように努めるものとする。

(平和の維持に係る協議等)

第5条 市長は、本市において、国是である非核三原則の趣旨が損なわれるおそれがあると認める事由が生じた場合は、関係機関に対し協議を求めるとともに、必要と認めるときは、適切な措置を講じるよう要請するものとする。

(核兵器の実験等に対する反対の表明)

第6条 市長は、核兵器の実験等が行われた場合は、関係機関に対し、当該実験等に対する反対の旨の意見を表明するものとする。

(委任)

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、市長が定める。

附則

この条例は、公布の日から施行する。

(平成14年4月1日公布)

《戦後70年特別事業》映画『アオギリにたくして』無料上映会・講演会

映画『アオギリにたくして』は、広島平和記念公園の被爆アオギリの木の下で被爆体験を語り継いだ沼田鈴子^{ぬまたすずこ}さんをモデルとした映画(2013年製作)です。沼田鈴子さんは、広島県で被爆し、左足を失い、絶望のふちに立たされながらも、被爆し焼け焦げたアオギリの幹から新芽が芽吹く姿に生きる勇気をもらい、2011年に87歳で亡くなるまで語り部として活動された方です。平成14年には、苦小牧市非核平和都市条例制定を記念し、苦小牧市でもご講演をいただきました

平和の尊さ・命の大切さを、戦後70年たった今に伝える映画『アオギリにたくして』をご家族やご友人と一緒にご覧になりませんか

上映当日は、本映画の統括プロデューサー・中村^{なかむら}里美^{さとみ}さんによる講演も行われます



とき	8月3日(月)17時～20時
ところ	アイビー・プラザ
定員	350人(申し込み順)
申し込み方法	リーフレットに必要事項を記載の上、下記のいずれかの方法で 1) 郵送 〒053-8722 苦小牧市旭町4丁目5番6号 政策推進課宛 2) FAX (34) 7110 3) ✉ seisaku@city.tomakomai.hokkaido.jp
リーフレット入手方法 (6月中旬から配布)	1) 市役所1階案内、7階政策推進課 2) 市内公共施設(各コミセン、植苗ファミリーセンター、勇払出張所、中央図書館、COCOTOMA、アイビー・プラザなど) 3) 苦小牧市公式ホームページからダウンロード

